

ラブアン島訪問

小林 征二

1月の下旬から3週間の予定でボルネオを訪れたことを機会に、ラブアン島に脚を伸ばし6日間滞在した。この島は、ブルネイ湾の北に位置し、南シナ海に浮かぶ。KK, KL, ミリ, クチンから空路で、また、KK, メヌンボック(KKから車で1時間のところ、ここからは車の輸送が可)、ブルネイからフェリーで行くことができる。KKから飛行機で30分、フェリーで2時間半を要す。

私と家内はKKから空路を利用した。サバ州の外にでるときにはパスポートコントロールを受ける必要があるため、空港の関連窓口でパスポートを提示しラブアンに行くことと告げた。ラブアンならばOKということで、何ら審査もされず搭乗券に判を押されることもなかった。ラブアン到着時にも何もチェックを受けることがなかった。ラブアンからKKに戻った時にもラブアンから着いたと申告したら何らチェックを受けることはなかった。空路に関する限りラブアンへの移動は、サバ州内の移動と同等の扱いに近い。

ラブアンは、鋭角三角形の形をした本島と6つの小島からなる総面積92k m²の小さな地域である。島は、いずれの州にも属さず連邦政府により直接行政されている。酒、煙草、チョコレートなどは、免税で販売されており、缶ビールは、RM2以下なので、左党にはうってつけかもしれない。年間の平均気温は30°Cくらいで温暖であるが、湿度が80%以上と高い。今回の2月中旬の6日間の滞在期間中に2日間終日雨に見舞われた。

島の中心地は、本島の南東部にあり、繁華街や商業地区は、そこに集中している。ホテルや飲食店もこの地区に多数ある。高級ホテル、中級ホテル、経済ホテルのいくつかで価格を尋ねてみた。シェラトンが撤退し、その後を引き継いだドーセットの価格が最も高くRM280である。次に高いのがウオータフロントであり、RM198、中級ホテルであるマリナーホテルがRM120、経済ホテルであるプラウラブアンインがRM78ということだった。何れも朝食ナシ2人用の部屋の代金である。中心地からバスミニで30分(RM2.5)かかる島の北部にマリカービーチリゾートというホテルがある。ここは、朝食付きでRM288と高いが、長期滞在の場合、割安になる。2週間でRM980ということだった。以上、何れもNett料金である。ホテルの予約は、eメールやFAXで行っても返事がこないことが多いので、直接電話をするか、現地の旅行社にネットやFAXで依頼するのがよさそうである。

飲食店は、マレー料理、中華料理、インド料理、西洋料理、イタリアンなどいろいろあり、経済的な屋台から本格的なレストランまで揃っている。シーフードやチキンは美味しい。スーパーマーケットや生鮮食品の市場も中心地にある。

マレーシア全体の人口が約2,200万人であるのに対し、ラブアン島の人口は、約75,500人である。その内71%が市民であり、29%が非市民である。市民の約44%がマレー人、約17%が中国人、約9%がカダザンドスン族であり、約2%がインド人だそうだ。フィリピン人も見かけたので非市民の何%かを構成しているものと想定する。特徴的なことは、30歳以下の人口比率が約64%であるということだ。マレー人(ムスリム)の比率が多いせいなのかKKなどと違って、先方から気軽に話しかけてきたり、笑顔をみせたりする人が少ない。こちらから話しかけると快く応対してくれるので無愛想

ということではない。タクシーの運転手やゴルフ場のキャディーで必要以上の額を要求する人もいたが、断れば要求を取り下げた。

島には、植物園、バードパーク、謎の煙突、モスク、中国寺院、平和記念公園、海洋博物館などの観光スポットがある。中心地にバスセンターがあり、バスに番号が表示されている。番号によって行き先が決まるので、分かり易く、観光スポットなどへの移動はバスマニの利用が安くて便利である。

ラブアン島は、スポーツフィッシングやレックダイビングでも有名である。島から **34km** 離れた所に 4 隻の船が沈没しており、そこでダイビングを楽しむそうである。

大雑把に言って、街の西側には、低層階の建物が多く、飲食店、各種店舗、免税店、ホテル、市場、バスセンター、タクシースタンドなどがある。東側には、高層階のファイナンシャルセンターがあり、そのグランドフロアと 1F にショッピングモールがある。マレーシア政府は、ラブアン島をシンガポールのような国際的金融取引センターとして発展させることを意図しており、僅かな人口の島にもかかわらず多数の金融機関や投資会社が進出している。しかし、活況を呈しているようには見受けられなかった。街の中心部にラブアン広場があり、その北側に博物館、インフォメーションセンター、および近代的な建築の図書館がある。街は、緑が多く、手入れが行き届いており、街全体が公園のようである。

島の西側に9ホールゴルフコースがある。築 **18** 年くらいということで、樹木も立派に育っており、フェアウェイの芝つきもよく、風格のある美しいコースである。しかし、私のようなリタイアした者が長期滞在をしてプレイをするのには少し高い。価格は、次の通りである。

単位:RM	グリーンフィー		キャディーフィー
	ウィークデー	ウィークエンド	
9ホール	60	90	13
18ホール	100	150	20

この他に、保険 **RM10** が必要である。尚、ビジターは、キャディーを付けることが義務付けられている。

今回の滞在中でラブアンが長期滞在をするのに適しているのか否かまでの評価はできなかったが、**KK** や近郊に滞在しているときに、少し趣きを変えるために訪れてみるころとして推奨することはできそうである。

参考資料

<http://www.labuantourism.com.my/Intro.htm>

ラブアン開発庁が運営する公式ページ

ラブアンの概要、地図、ホテルの価格やコンタクト情報、見所、行き方、フェリーや飛行機の時刻表、などラブアンに関わる情報を入手することができる。

<https://marimari.readyhosting.com>

ラブアンのホテルを予約できる旅行代理店